

## 平成 28 年度 第 2 回帯広市社会教育委員会議 議事要旨

- 1 日 時 平成 28 年 9 月 21 日 (水) 18 : 00 ~ 20 : 05
- 2 会 場 帯広市児童会館 2 階 実習室
- 3 出席委員 我妻 公裕、杉本 光瞬、阿部 好恵、池田 健一、松本 健春、高倉 美恵子、  
大槻 みどり、田中 恵子、久保田 博己、半田 聡、藤崎 博人、高橋 弘史、  
廣瀬 有紀、佐々木 祥世  
(以上 14 名 敬称略)
- 4 事務局 生涯学習部長 神田 亜紀志、生涯学習部企画調整 森川 芳浩、スポーツ振興室施設  
担当次長 泉 和知、図書館長 前原 匡宏、生涯学習課長 樂山 勝則、文化課長 増子  
和則、百年記念館長 北沢 実、動物園長 柚原 和敏、児童会館長 金曾 成文、スポ  
ーツ振興室副主幹 永田 拓也、生涯学習課係長 島田 猛、生涯学習課主任補 高橋 大  
輔、生涯学習課主任補 黒澤 英里子、生涯学習課係員 岩崎 真実  
(以上 12 名)

### 5 会議次第

- (1) 開会
- (2) 帯広市児童会館 施設見学
- (3) 帯広市教育委員会 挨拶
- (4) 帯広市社会教育委員長 挨拶
- (5) 議事
- (6) 閉会

### 6 議事要旨

#### (1) 会議等出席報告について

- ・ 会議名 : 第 3 6 回北海道市町村社会教育委員長等研修会
  - ・ 期 日 : 平成 2 8 年 7 月 7 日 (木) ~ 8 日 (金)
  - ・ 場 所 : 札幌市 北海道立道民活動センターかでの 2. 7
  - ・ 出席者 : 高倉 副委員長 (事務局 : 高橋 主任補)
- 高倉 副委員長より参加報告。

【質問・意見等】  
なし。

#### (2) 台風 1 0 号による被害報告について

事務局より説明。

【質問・意見等】  
なし。

### (3) 社会教育委員会議の研究協議テーマについて

- ① 前回の研究協議テーマ「社会教育の本質「自己教育」・「相互教育」を掘り下げる」のまとめについて  
事務局より説明。

【質問・意見等】

なし。承認。

- ② 第3回会議テーマ「帯広市の強み・優位性」について

【質問・意見等】

以下のとおり。

#### 1 まちのアイデンティティ

##### ○委員

暮らしやすい気候、恵まれた食、美しい風景など、帯広市内に暮らしていると、これらの恵まれた環境が当たり前になっており、他の都市で暮らしてみても、初めて気付く魅力がある。このようなまちの良さを、市内に住んでいる方々が知ること、または伝えていくことが大切だと考える。

##### ○委員

帯広市には小さなコミュニティがあり、何かを生み出そうという力を感じる。まちのアイデンティティとは人にあり、そこがこのまちの強みだと思う。ただし、強みの裏に飽きっぽい一面があり、粘り強さがないように感じており、コミュニティを統率するキーパーソンの存在が大切になると考える。

##### ○委員

本州の小学校の多くは、10月頃に運動会が行われているが、帯広・十勝では6月に行われる。なぜこの時期に開催するのかというと、帯広・十勝の基幹産業である農業の閑散期が6月頃であるためと聞いた。また、帯広・十勝の小中学校の運動会では、児童・生徒の親や親戚が多く集まり、地域の一大イベントとなる。これは、かつて小中学校の運動会が、それぞれのコミュニティの祭を兼ねていた名残であると聞いている。このように、各分野に地域の歴史や風土といった背景がある。そういったある種の文化や風土が、都会に影響されて失われつつあると感じている。

例えば、京都では、舞妓であれば未成年でも酒席に侍する業務への従事ができると聞いている。つまり、京都では文化を重んじているということだ。このように、京都は千年以上の歴史で文化を築き上げ、アイデンティティをつくってきたと考えている。ここ帯広・十勝の歴史は、まだ百数十年であるが、今まで築き上げてきた歴史や文化などのアイデンティティや先人の開拓精神などを、子ども達に伝えていくことが大切であると考えている。

##### ○委員

もっと歴史を学ぶことが大切である。入植は晩成社が始めであるが、その後の開拓の歴史はどのように伝えられているだろうか。現在までにどのような努力が積み重なって、この帯広市がつくられてきたのか、学ぶことが多くあると思う。

##### ○委員

晩成社をはじめとする開拓やまちづくりの歴史は、子ども達に伝えていくべきである。また、先住のアイヌの方々の知識や自然に対する考え方などから学ぶことが多くあると考えており、知っていく必要があると思う。

## 2 地勢や風土

### ○委員

帯広市は空気が良く、本州と比較して空気が湿っていない。さらに、水道水を「極上水」として販売できるほど、水の質にも恵まれている。これらの良さを、もっと外部にアピールしていくことが必要であると考えます。

また、帯広市の魅力は中心部だけではなく、大正・広野・八千代といった南部の農村地域にもあると感じている。市内の中学校などでは、八千代での自然体験授業を行っているが、一般市民を対象にした体験も行うと良いと考える。また、観光客だけではなく市民が足を運ぶようなキーステーションがあれば、魅力を感じてもらえると思う。

## 3 食や景観

### ○委員

十勝は海・山に恵まれた土地である。何よりも食に恵まれており、子どもを対象にした食育にもっと力をいれて、食の良さをアピールしたい。そして、次の世代である子ども達に、帯広・十勝が恵まれた土地であるということを伝えていきたい。

### ○委員

今回の台風10号により、農村部はかなり被害を受けた。帯広市では農業のことがおざなりになっていると感じている。こんなに食が豊富で恵まれている土地はない。ただし、一度帯広・十勝から外に出てみなければ、その良さに気付くことは難しい。その一方で、帯広市民はまちの外に出たがらない傾向にあると感じている。

### ○委員

最近では、食べ物の好き嫌いやアレルギーを持つ子どもが多い。しかし、帯広市で行っている食育の活動により、好き嫌いを克服し、アレルギーがある食べ物が食べられるようになったというような事例がある。このように、食育は大きな役割を持っているといえる。

また、市内で子育てサークルの支援を行っているが、そのサークルに参加している保護者の多くは転勤族であり、帯広市のことをよく知らない方が多い。そのため、帯広市を知らない方のために、紹介冊子を作成しており、より多くの方にさらに帯広市について知ってほしいと思う。

## 4 都市機能

### ○委員

地元の製パン屋やカレーショップなどは、全国的にも有名で誇れる。その一方で、街中は居酒屋ばかりが軒を連ねている。駅前などのメインストリートに工夫がほしい。

### ○委員

帯広駅前にはホテルなどの宿泊施設や、居酒屋などの飲食店が多い。このことから、市の中心部は、市外から訪れた人々が滞在するための場所となっており、元来の住民は南や西に移り住む傾向にあると感じている。この実態を少々残念に思っており、緑ヶ丘公園のような場所にもっと人（住民）を集めることができないだろうか。市街地に住民を集めることが、これからのまちづくりにかかっていると思う。

### ○委員

まちの規模がちょうど良いと感じている。（規模が大きすぎないため）お互いの顔が見えて、人と人とのつながりが出来ていると考える。

### ○委員

帯広市が若者にとって、さらに居心地の良いまちになれば、若者をまちに留めることができると思う。例えば、居酒屋ではなく、夜遅くまで営業している飲食店などがあれば、若者がいられる場所ができ、若者が楽しめるようなまちとなると考える。

## 5 産業

### ○委員

帯広南商業高等学校は、まちの後継者を育てたいという思いから創設され、もうすぐ開校60周年を迎えるが、帯広は雇用と地場産業が安定しており、不況に影響されにくく、これらのことは、まちの良さといえる。

### ○委員

「帯広」よりも「十勝」の方が全国的な知名度が高く、ネームバリューについても同じことが言える。つまり、帯広市単独ではなく、十勝管内の他町村と連携していることに良さがあると思う。

## 6 その他

### ○委員

市内の各小学校に、様々な競技のスポーツ少年団がある。これらの少年団では小学校の卒業とともに卒団となるのが一般化している。しかし、少年団とは本来、「スポーツを通して子どもを育て、将来の指導者を育成すること」が目的であるため、小学校を卒業した後も、在籍することができる団体であるべきである。

ぜひ、帯広市でこのような活動ができる環境づくりを進めていただきたい。

### ○委員

帯広・十勝の若者達が、就職や進学で他の市町村へ流出している。このような若年層のUターンを増やしていけるような工夫が必要であると感じている。

### ○委員

大学を地元住民が活用できないだろうか。「大学」というと、住民の日常生活には関係があると感じにくいだろうが、もっと連携できることがあるはずである。

### ○委員

帯広・十勝に住んでいる人がまちの良さを知り、その良さを子ども達にどうやって伝えていくかが不足しているように思う。まちの良さというものは、その背景（歴史や風土など）を知らなければ、実感することも難しいと感じている。こういったまちの良さを知り、伝えていくことが、後継者作りにもつながっていくと考える。

## (4) 平成27年度生涯学習部事業実績について

事務局より説明。

### 【質問・意見等】

### ○委員

スポーツ振興室の事業実績について、総合型地域スポーツクラブの取組みの中に含まれていないクラブがあるが、それはなぜか。

●スポーツ振興室副主幹

確認して後日報告させていただく。  
(確認・報告内容別紙)

(5) その他

事務局より帯広市社会教育委員への行政等の情報提供方法について意見聴取。

【質問・意見等】

○委員

以前より、帯広市の教育関連行事について案内が送付されてきているが、これでは情報不足であると感じている。何をするのか、その結果どうだったのかが知りたい。

○委員

もし、情報提供をするのであれば、我々委員のみが受け取るだけではもったいない。外部にも発信していくのはどうだろうか。

○委員

もし、定期的な情報提供をしてもらえるなら、市の教育行政等がどのように動いているのか、またはどのように動いていく予定であるのかが分かる上に、受け取った委員から各分野へ伝えられるので、情報共有の方法として有効である。ぜひ、実行していただきたい。

以上